

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 高等部		学 年	1 年
教科等名	美術		学習グループ (教育課程)	B (知的代替)
ねらい	(知・技)造形的な視点を意識し、意図に応じて表現方法を選んで表す。 (思・判・表)自分や友達の商品、美術作品のよさや美しさを感じる。 (主)創造活動を楽しみ、すすんで見たり作ったりする。			
担当教員	教員：新田真 上野はつえ 荒屋澄枝 CG：井上智佳子			
年間授業時数	72 単位時間			
使用教科書	「うつくしい絵」 偕成社			
月	単元 (題材) 名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい (評価の観点)	指導の工夫
4	【絵画】 版表現	1 2	○顔の版画を制作する。 ◆表したい顔の表情に合う、形や色を選んで制作する。	・生徒の実態に合わせて、扱いやすい材料や道具、指導方法の工夫をする。
5			◆自分や友達の商品から、よさや美しさを感じる。	
6				
7	【立体造形】 生活が楽しくなる色・形	1 4	○粘土を使い、日常生活で使ったり飾ったりできるものを制作する。 ◆粘土の感触を味わい、特性を理解し、作りたい形を発想する。 ◆作りたいものに合った色や形を工夫して表す。	・生徒の体の動きに合わせて、道具の位置や制作時の姿勢に配慮する。
9	【映像メディア】 動く絵	1 3	○デジタル機器を使い、作った絵を動かす。 ◆デジタル機器の扱いに慣れ、意図に応じて色や形の組み合わせを工夫する。	・手で顔を触れる習慣のある生徒がいるため、汚れた手はすぐに拭くようにする。
10			◆自分や友達の商品が動くおもしろさを感じ取る。	
11				
12	【デザイン】 伝統的な表し方から学ぼう	1 3	○伝統的な表し方を知り、自分のデザインを発想する。 ◆用具を適切に扱い、意図に応じた色や形を選んで表す。 ◆伝統的な表し方に興味をもち、進んで制作に取り組む。	・生徒の実態に合った資料を用意し、イメージをもって制作できるようにする。
1	【デザイン】 色や模様のイメージを考えて作ろう	2 0	○コラージュで絵をデザインし、カレンダーを制作する。	
2			◆季節等のイメージに合う色や形を工夫して配置する。	
3			◆自分や友達の商品の表し方のよさや美しさに気付く。	

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部	学 年	1 年
教科等名		音 楽	学習グループ(教育課程)	B (知的代替)
ねらい		(知・技) 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発声、身体の使い方などの技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) どのように歌うか、演奏するか自分なりに表現しようとしている。 (主) 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、活動できる。		
担当教員		教員：津田直子 新田真 上野はつえ		
年間授業時数		36 単位時間		
使用教科書		MY SONG 6 改訂版 (教育芸術社)		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4	曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう	7	○歌唱・手話歌 ◆曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技能を身に付けることができるようになる。	・活動を楽しむ中で、自然な発言を引き出す。
5				
6				
6	能や謡に親しもう	6	○鑑賞 ◆能を鑑賞したり能について調べたりしながら、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりを理解することができるようになる。	・生徒が扱いやすい道具を使用する。(重さや長さなど) ・楽器だけでなく身体を使って音楽を感じられるようにする。
7				
9	ミュージカル・ナンバーを歌おう	7	○歌唱・鑑賞 ◆ミュージカルを鑑賞し、物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技能を身に付ける	・役割、順番交替場面や友達に注目される場面を設定する。
10				
11				
12				
11	ボディー・パーカッションなど音を表現することに挑戦しよう	6	○器楽 ◆演奏したり互いに聴き合ったりしながら、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解することができるようになる。	・授業や友達の様子に注意を向ける働きかけを行う。
12				
1				
1	さまざまな器楽アンサンブルを楽しもう	10	○器楽 ◆一人一人が主体性を発揮しながら、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けることができるようになる。	・個々の発達段階に応じて細かな課題を設定する。
2				
3				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 高等部		学 年	1年
教科等名	家庭		学習グループ（教育課程）	B（知的代替）
ねらい	<p>(知・技)家庭生活を送るために必要な、道具の名称やその使い方を知る。 (思・判・表)衣生活・住生活・食生活・消費生活について調べたり発表したりする。 (主)家庭生活に関心をもち、主体的・協同的に学習活動に取り組もうとする態度を養う。</p>			
担当教員	教員： 上野はつえ 新田真 荒屋澄枝			
年間授業時数	72,5 単位時間			
使用教科書	家庭科の教科書小学校低学年～高学年用（山と溪谷社）			
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	ガイダンス	7	○1年間の学習予定 ◆家庭科の学習に見通しをもち、関心をもって主体的に学べるようになる。(主)	・一年間の学習の流れを提示する。
5	家庭生活に必要な用具	7	○衣・食・住に必要な用具の学習 ◆家庭生活に必要な用具について知り、場面と合わせて用法を考える。(思・判・表)	・生徒にとって身近な事柄を題材にする。
6	衣服の洗濯、手入れ、アイロンがけ	14.5	○衣服の役割、手入れ方法の学習 ◆衣服の役割やTPOについて理解できるようになる。(知・技)	・具体物を提示し興味をもちやすいようにする。
7			◆洗濯機の使用や手洗いやアイロンがけの体験を通し家庭生活への理解を深める。(知・技)	
9	被服小物製作	14	○被服制作 ◆小物作りを通して、被服道具の使い方について、実体験を通して安全に使えるようになる。(知・技)	・実習を通して、被服道具の使用方法を学習する。安全にできるよう、生徒の実態に合わせた用具を用意する。
10			◆完成を想像し、自分らしさを表現して、作品をつくる。(思・判・表)	
11	調理学習	20	○調理学習 ◆調理を通して、料理がどのようにできているのかを知り、実体験を通し安全に調理用具を使えるようになる。(知・技)	・生徒の実態に応じて用具を準備する。視聴覚教材を用意し、分かりやすくする。
12			◆自分の食べているものがどのように作られているのか意識する。(主)	
1				
2	整理整頓 衛生管理	14	○整理整頓 ◆机やロッカーなど自分の使用する場所について整理整頓する力をつける。(知・技)	・DVDやインターネットを利用する。
3			○掃除 ◆掃除用具の種類や使用方法を学び、正しく使用して掃除をする。(知・技)	
			○清潔 ◆手や髪や身体の正しい洗い方を学び、足湯などで部分的に実践する。(知・技)	・手順をイラストなどで分かりやすくする。

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 高等部	学 年	1 年	
教科等名	作業学習	学習グループ（教育課程）	B（知的代替）	
ねらい	<p>（知・技）作業活動を計画的に継続して行うことで、充実感や達成感を得る。 （思・判・表）将来の社会参加に向けて、生徒一人一人が生き生きと生活するために必要な意欲や態度を培い、人間関係の形成を図る。 （主）安全への配慮や基本的な道具の扱い方などを知る。</p>			
担当教員	教員：新田真 上野はつえ 荒屋澄枝			
年間授業時数	74 単位時間			
使用教科書	なし			
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	・オリエンテーション ・ほうれんそう	2	<p>○今年度の作業学習の内容について知る。 ◆1年間の学習内容について見通しをすることができる。（知・技） ○報告、連絡、相談について知る。 ◆報告や連絡、相談の仕方について模倣したり発声したりすることができる。（主） ○図書の整理について知る。 ○図書館や図書コーナーの清掃方法について知る。 ◆図書館や図書コーナーにある図書の分類や書棚への返却手順を理解し、実践することができる。（知・技） ◆清掃方法について内容や手順を理解することができる。（知・技） ◆自分にできることを見つけることができる。（主）</p>	<p>・作業場所を見学しながら説明し、イメージを膨らませることができるようにする。 ・報告、連絡、相談の仕方について、毎回の導入時に手本を示し模倣を促す。 ・配置図や指示書などを提示し視覚的に理解できるようにする。 ・ICT 機器を活用して、指示を繰り返し聞くことができるようにする。</p>
		2		
5	・図書の整理 ・図書館や図書コーナーの清掃	6		
		8		
		6		
6	6			
9	・図書の整理、清掃 ・新聞の整理 ・本の POP や掲示物の整理	8		
		8		
		8		
		6		
10	8			
11	8			
12	6			
1	・図書の整理、清掃 ・新聞の整理 ・本の POP や掲示物の整理	6	<p>○図書の整理や清掃に取り組む。 ○新聞の整理に取り組む。 ○本の POP やポスターなどの掲示物を整理する。 ◆自分にできることを見つけ、仲間と協力しながら、主体的に取り組むことができる。（主） ◆新聞の受け取り方や並べ方を理解し、他者と丁寧に受け答えをしながら実践することができる。（思・判・表） ◆図書館支援員と連携して図書の整理や清掃を実践する。（知・技） ○1年間の学習を振り返る。 ◆自己の学習記録を振り返り、整理した内容を発表することができる。（主）</p>	<p>・ICT 機器を使用して一人で発表することができるようにする。 ・タブレット端末を活用して表を作成できるようにする。 ・1年間の作業の様子や写真を記録にまとめ、自己の学習を振り返ることができるようにする。</p>
		8		
		6		
2	8			
3	6			
3	・1年間のまとめ	6		

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部	学 年	1 年
教科等名		保健体育	学習グループ（教育課程）	B（知的代替）
ねらい		<p>（知・技）各種の運動の楽しさや喜びに触れ、病気の予防などの仕方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。</p> <p>（思・判・表）各種の運動や健康な生活における自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>（主）各種の運動にすすんで取り組み、きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をする態度を養う。</p>		
担当教員		新田真 福島聡 長岡優花 上野はつえ 荒屋澄枝		
年間授業時数		74 単位時間		
使用教科書		イラスト版からだのつかい方・ととのえ方 子供とマスターする45の操体法（合同出版）		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	体づくり運動	2	○ストレッチ、サーキット運動 ◆身体の各部位を意識して動かすことができる、または動かそうとしている。（主）	・簡単な動作を取り入れ模倣できるようにする。
		2	○課題走、スラローム走、リレー走など ◆自己の課題を見つけ、解決に向けて工夫することができる。（思・判・表） ◆記録の向上をめざし主体的に運動へ参加する。（主）	・選択肢を提示し、主体的に課題を発見できるようにする。 ・徐々に教職員の補助を減らす。
5	陸上競技	6		
6		6		
7		4	○水中でのリラクゼーション、呼吸法、泳法の基礎 ◆水中での力の抜き方や呼吸法について知ることができる。（知・技） ◆さまざまな浮き方や泳法の基礎となる動きを身に付けることができる。（知・技）	・全身を介助することで、水中での不安を軽減できるようにする。 ・始めは動きを補助し、徐々に一人で反復できるようにする。
9	水泳	8		
10		8	○空手の歴史、基本動作、形など ◆空手の歴史や基本動作・形などについて知り、理解を深めることができる。（知・技） ◆自己の課題を理解し、練習に取り組むことができる。（主）	・実態に沿って課題提示を行う。 ・個の実態に応じた道具の設定を行う。
11	※東京 2025 デフリンピック理解	4		
11	けがや疾病の予防	4	○応急手当やAED ◆止血、患部の保護、AEDについて知る。（思・判・表）	・実物やICT機器を使用して、五感で内容を理解できるようにする。
12	ダンス	8	○リズム体操、創作ダンス ◆身体の各部位を意識して曲げたり伸ばしたりすることができる。（思・判・表）	・大画面のプロジェクトクターを使用する。
1	球技（ハンドサッカー）	6	○ドリブル、パス、シュート ◆自己の課題を見つけ取り組める。（思・判・表） ◆友達と協力して練習や試合に参加することができる。（主）	・個々の実態に沿って課題設定する。 ・生徒の実態に合わせてルールの設定を行う。
2		8		
3		6		

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 高等部		学 年	1 年	
教科等名	生活単元学習		学習グループ(教育課程)	B (知的代替)	
ねらい	(知・技) 社会生活を送るために必要な知識や技能を知り、練習をする。 (思・判・表) 生活場面における課題に意識を向け、適切な行動を学ぶ。 (主) 自分と身近な社会や自然との関わりに気づき、すすんで活動する。				
担当教員	教諭：新田真 上野はつえ 荒屋澄枝				
年間授業時数	37,5 単位時間				
使用教科書	「イラスト版子どものお手伝い子どもとマスターする 49 の生活技術」(合同出版)				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)	指導の工夫	
4	オリエンテーション	1	○年間の学習内容を確認し、期待感を高める。 ◆1年間の学習内容について理解を深め見通しをもつことができる。	・ 体験的な活動を中心に行う。	
5	買い物に行こう	3	○買い物に必要な知識や行動を身に付ける。 ◆簡単な地図の読み取り、安全な歩行、買い物時のやりとりができる。		
6	植物を育てよう	9.5	○植物を育てる(種まき、苗植え、水やり、間引き、収穫、観察) ◆植物が育つ様子に興味をもち、観察したり世話をしたりする。		
7					
9	社会見学へ行こう	9	○社会見学の事前学習・事後学習 ◆社会見学時の内容やルールを知り、興味をもつ。 ◆社会見学で楽しかったことや学んだことなどを振り返る。		・ 身近な生活技術を身に付けられるような活動を取り入れる。 ・ 各教科の学習内容が含まれるよう単元の内容を設定する。
10	お楽しみ会をしよう①	5	○お楽しみ会の計画、準備、実施 ◆グループのみんなで楽しめる活動を考え、担当の係の仕事をしたり、活動を楽しんだりする。		
11					
12					
1	世界の遊びを体験しよう	5	○世界の文化を知り、遊び体験を広げる。 ◆新しい活動にも挑戦して、友達と一緒に楽しむ。		
2	おたのしみ会をしよう②	5	○お楽しみ会の計画、準備、実施 ◆お楽しみ会①をふまえ、新しい企画を考えたり、前回とは異なる係を担当したりして、発想や経験を広げる。		
3					

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 高等部	学 年	1 年	
教科等名	総合的な探究の時間	学習グループ（教育課程）	B（知的代替）	
ねらい	<p>（知・技）課題の解決に必要な知識・技能を身に付け、探求的な学習のよさを理解する。</p> <p>（思・判・表）自己の課題を発見し、解決のために情報を集めることができる。</p> <p>（主）互いのよさを生かしながら、協同的・積極的に参加しようとする態度を養う。</p>			
担当教員	教員：新田真 上野はつえ 荒屋澄枝			
年間授業時数	39 単位時間			
使用教科書	なし			
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	オリエンテーション 自己 PR	1	○学習予定の確認 ◆1年間の学習内容について見通しをすることができる。（主）	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを用いて主体的に発表できるようにする。 プレゼンテーションソフトを用いる。 発表、発言の機会を多く設ける。 他の例示からヒントを得られるようにする。
		2	○自分の長所や魅力を他者へ伝える。 ◆自己の良さに気づき、手段を用いて他者へ伝えることができる。（思・判・表）	
5	「生徒会活動」とは何だろう。	3	○生徒会活動について理解を深め、主体的に行動することや協同について考察する。 ◆身近な活動から、役割や分担、企画や運営について考えることができる。（知・技）	
6	「本の魅力」について考える。	4	○本の魅力や良さについて考察する。 ◆本の魅力や良さを見つけることができる。（知・技）	
7		3	◆本の魅力や良さについて、ワークシートやプレゼンテーションソフトでまとめることができる（思・判・表）	
9	夏休み報告 「本の魅力」を伝えよう。	1	○夏休み報告会 ◆夏休みの出来事を発表し、他者の体験談からイメージする力を養う。（主）	<ul style="list-style-type: none"> ICT 機器を使用して文字や絵を伝えられるようにする。 自分の意見や考えを整理して、集団の中で伝えられる発表の場を設ける。 活動内容や役割分担を明確にする。 グループワークを設定し、他者と意見交換ができるようにする。
		3	○好きな本の魅力を他者へ伝える。 ◆好きな本のポスターを作成することができる。（思・判・表）	
10		4	◆分かりやすく伝えるための工夫をすることができる。（知・技）	
11	お話会の企画、開催	4	○お話会についての企画、運営、お話会の開催を協力して行う。 ◆自己の役割を見つけ、積極的に参加することができる。	
12		4	◆自己の役割を理解し、他者と協力して活動することができる。（主）	
1	冬休み報告	2	○冬休み報告会 ◆冬休みの出来事を、タブレット端末を活用して発表することができる。（知・技）	<ul style="list-style-type: none"> ICT 機器を使用して一人で発表することができるようにする。 タブレット端末を活用して表を作成できるようにする。 1年間の個々の学習の様子や役割を写真で提示し、具体的にイメージできるようにする。
2	生活習慣を振りかえってみよう。	4	○生活習慣チェック表作り ◆自己分析を行い、自ら課題を発見し、改善策を考えることができる。（思・判・表） ◆分かりやすく伝えるための工夫をしようとしている。（知・技）	
3	進路学習	4	○進路について考える。 ◆進路先や様々な仕事について知ることができる。（主） ◆自分の適性から、どのような仕事や作業ができるか考えることができる。（思・判・表）	

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 高等部		学 年	1 年
教科等名	特別活動・ホームルーム活動	学習グループ（教育課程）		
ねらい	(知・技) 学年の友達との関わりを通し、コミュニケーション能力や社会に必要な知識やマナーを身に付ける。 (思・判・表) 豊かな人間関係を築く。 (主) 友達や教職員とのコミュニケーションを広げ主体的に活動できる。			
担当教員	教員：新田真 松木克美 相木榛果 大原勇人 島田篤弘 清宮衛介 C G：影山純子 平田篤子 井上智佳子			
年間授業時数	40 単位時間			
使用教科書	なし			
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	高等部のスタート	5	○1年生の集団紹介、1年間の行事紹介、係活動決め等 ◆高等部での活動や友達・教職員を知り、新たに始まる学校生活を意識する。	・学年の友達との関わりを通し、豊かな人間関係を築く活動を設定する。 ・行事に合わせた活動を設定する。 ・個々の自主性を引き出すために、活動内容を生徒が決める機会を設定する。
5	体育発表会に向けて	5	○体育発表会に向けて練習や準備を行う。 ◆本番に備えて期待感を膨らませる。 ◆行事を振り返り成功体験を生徒間で共有する。	
6	レクリエーション活動①	4	○生徒が主体的に選んだゲームのレクリエーション ◆友達同士で協力して関わりを深める。	
7	移動教室に向けて	3	○移動教室に向けて準備をする。 ◆日程や場所を知り、目標や係等を決める中で宿泊の見通しをもつ。 ◆行事を振り返り成功体験を生徒間で共有する。	
9	移動教室に向けて	3	○移動教室に向けて準備をする。 ◆日程や場所を知り、目標や係り等を決める中で宿泊の見通しをもつ。 ◆行事を振り返り成功体験を生徒間で共有する。	
10	レクリエーション活動②	9	○生徒が主体的に選んだゲームのレクリエーション ◆友達同士で協力して関わりを深める。	
11				
12	学期のまとめ	1	○2学期の学習活動、また個人の成長を振り返る。 ◆次学期につながる振り返りを行う。	
1	レクリエーション活動	9	○ボッチャ等のレクリエーション ◆友達同士で協力して関わりをさらに深める。	
2	1年のまとめ	1	○一年間の学習活動、また個人の成長を振り返る。 ◆今年度を振り返ることで次年度に繋げる。	
3				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部		学 年	1 年
教科等名		日常生活の指導		学習グループ（教育課程）	B（知的代替）
ねらい		<p>(知・技)日常生活に必要な言動を身に付け、周囲の状況に合わせて発言や行動をすることができる。</p> <p>(思・判・表)自分の行動について、報告・連絡・相談ができる。</p> <p>(主)自分の健康管理、荷物の管理など個別課題に取り組む態度を養う。</p>			
担当教員		教員：新田真 上野はつえ 荒屋澄枝			
年間授業時数		189 単位時間			
使用教科書		なし			
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫	
4	個別課題に取り組む ・挨拶 ・摂食 ・排泄 （通年）	189	○挨拶や他者とのコミュニケーション ◆場面を理解し、主体的に挨拶をすることができる。（主） ◆適切な言葉で、他者と受け答えをしようとしている。（思・判・表） ○給食後の取り組み（片付け、姿勢変換、口腔ケア） ◆食器や自助具などを主体的に片付けことができる。（知・技） ◆口腔ケアを意識し、清潔に保つことができる。（主） ○排泄リズムを整える ◆排泄リズムを確立し、協力動作や支援の依頼ができるようになる。（主）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 即時評価を行う。 ・ 他者とやり取りできる場面を設定する。 ・ 個々の実態に合わせて食具や食事環境を工夫する。 ・ 食前・食後のルーティンを明確にする。 ・ 排泄チェック表を活用しながら、排泄リズムを把握する。 ・ 移乗や座位の保持など、自分でできる動作を言葉掛けしながら促す。 	
5					
6					
7					
9					
10					
11					
12					
1					
2					
3					

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部		学 年		1 年		
教科等名		国語		学習グループ（教育課程）		B（知的代替）		
ねらい		<p>（知・技）日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができるようにする。</p> <p>（思・判・表）出来事の順序を思い出す力や感じたり創造したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりする。</p> <p>（主）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。</p>						
担当教員		教員：新田真 上野はつえ 荒屋澄枝						
年間授業時数		76.5 単位時間						
使用教科書		くらしに役立つ国語（東洋館出版）						
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）			指導の工夫		
4	発表をしよう	4.5	○休日の出来事を発表する。 ◆発表内容を簡単な言葉でまとめて伝える。（主）			<ul style="list-style-type: none"> ・答えやすいように選択肢を用意する。 ・身近な内容の動画を使用し、単語や言葉をイメージできるようにする。 ・具体的な物を用いてイメージを広げられるようにする。 ・生徒の実態に合わせて、教材の提示方法やICT機器を工夫する。 ・個別課題学習は年間を通じて行う。生徒の実態に応じて教材や課題を用意して学習を進める。 		
	動画を見て言葉を探そう①	5	○動画の中から、日常生活でよく使用する単語や興味のある言葉を見つける。 ◆単語や文章を正しく発音したり書いたりする。（思・判・表）					
	ことわざ	6	○身の回りにあるいろいろな言い回しの言葉やことわざの意味や使い方を学ぶ。 ◆たとえの言葉などの意味や使い方を理解し、具体的に表現する。（思・判・表）					
	個別学習①	7	○個別課題（線結び、ひらがな、漢字、単語など） ◆個々の実態に応じた表出方法や表現方法を身に付ける。（思・判・表） ◆言葉や手紙の書き方の決まりを理解し、手紙の内容を分かりやすく書く。（知・技）					
9	音読をしよう	8	○発音しやすい2～3文字の単語、2～3語文の音読に取り組む。 ◆教師の促しに応じ、すすんで発声し伝えようとする。（主）			<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に合わせて、教材の提示方法やICT機器を工夫する。 ・個別課題学習は年間を通じて行う。生徒の実態に応じて教材や課題を用意して学習を進める。 		
	物語①	8	○物語に興味をもち、一場面を再現する。 ◆物語の内容に沿った表現ができる。（知・技） ◆物語の言葉を模倣することができる。（思・判・表）					
10								
11	日常生活から見つけよう	8	○日常生活で気になることや自分の興味のあることについて調べて発表する。 ◆資料を集め、要点をまとめ、発表する。（主）					
12	個別学習②	8	○個別課題（線結び、ひらがな、漢字、簡単な文章など） ◆個々の実態に応じた表出方法や表現方法を身に付ける。（知・技）					
1	動画を見て言葉を探そう②	8	○動画の中から、日常生活でよく使用する単語や興味のある言葉を見つける。 ◆単語や文章を正しく発音したり書いたりする。（思・判・表）			<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に合わせて、教材の提示方法やICT機器を工夫する。 ・個別課題学習は年間を通じて行う。生徒の実態に応じて教材や課題を用意して学習を進める。 		
	物語②	7	○物語を読み、関連する質問に答える。 ◆登場人物や出来事について正しく理解し、答えることができる。					
	個別学習③	7	○個別課題（線結び、ひらがな、漢字、簡単な文章、コミュニケーションなど） ◆個々の実態に応じた表出方法や表現方法を身に付ける。（知・技）					

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部		学 年		1 年	
教科等名		数学		学習グループ（教育課程）		B（知的代替）	
ねらい		<p>(知・技) 数量や図形などについて基礎的な概念などを理解し、分類したり、簡単な計算をしたりする技能を身に付ける。</p> <p>(思・判・表) 日常生活の事象について、ものの数や図形に着目し、具体物や図などを用いて表現する力を養う。</p> <p>(主) 数量に関心をもち、学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。</p>					
担当教員		教員：新田真 上野はつえ 荒屋澄枝					
年間授業時数		77 単位時間					
使用教科書		「くらしに役立つ数学」(東洋館出版)					
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)			指導の工夫	
4	数と計算	7	<p>○買い物などの日常生活の場面で必要な計算をする。(大きい数、小数、分数、正の数・負の数、3桁以上の計算)</p> <p>◆生活に必要な大きな数について理解する。電卓を使った計算ができる。(主)</p> <p>◆小数や分数の読み方や書き方を理解する。(知・技)</p>			<ul style="list-style-type: none"> 日常生活で使用する具体物を用いて、数の概念理解を促す。 身近な内容の動画を使用し、単語や言葉をイメージできるようにする。 具体的な物を用いてイメージを広げられるようにする。 生徒の実態に合わせて、教材の提示方法やICT機器を工夫する。 個別課題学習は年間を通じて行う。生徒の実態に応じて教材や課題を用意して学習を進める。 実物の図形を用意し、視覚的にイメージが持てるようにする。 工作用紙などを用意し、図形を作成する。 問題演習で反復学習を行う。 	
5	生活と時間	9	<p>○1日の生活を時間で考える。(時刻と時間、時刻と時間の計算)</p> <p>◆時計から時間を読み取り理解することができる。(思・判・表)</p>				
6	個別学習①	7	<p>○計算プリント</p> <p>◆2桁の計算などが正確にできる。(思・判・表)</p>				
7			<p>○具体物を用いた数唱、数の理解</p> <p>◆日常生活の数字に興味をもつことができる。(思・判・表)</p>				
9	変化と関係・データ活用	12	<p>○仮想の1ヶ月の生活費を基に、表に表し、計算をする。(かけ算・わり算、およその数、割合とグラフ、比例)</p> <p>◆資料から必要なデータを読み取り、表に整理する。概数を理解する。(知・技)</p>			<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態に合わせて、教材の提示方法やICT機器を工夫する。 個別課題学習は年間を通じて行う。生徒の実態に応じて教材や課題を用意して学習を進める。 実物の図形を用意し、視覚的にイメージが持てるようにする。 工作用紙などを用意し、図形を作成する。 問題演習で反復学習を行う。 	
10	測定	12	<p>○日常生活で身近にある物の長さや重さを調べる。(長さ、重さ、単位の読み方)</p> <p>◆長さ、重さの測り方や量、単位の読み方や使われ方を知り、実際に測定する。(主)</p>				
11	個別学習②	8	<p>○計算プリント</p> <p>◆3桁の計算などに親しむ。(知・技)</p> <p>○具体物を用いた数唱、数の理解</p> <p>◆日常生活の数字に興味をもつことができる。(主)</p>				
12			<p>○計算プリント</p> <p>◆3桁の計算などができる。(主)</p>				
1	図形	8	<p>○身近な場所、容器の面積や容積を計算する。(図形の基本・多角形、円、立方体・立体、面積・体積)</p> <p>◆面積や体積の単位、計算式や公式を理解する。(知・技)</p>			<ul style="list-style-type: none"> 工作用紙などを用意し、図形を作成する。 問題演習で反復学習を行う。 	
2	個別学習③	7	<p>◆計算式や単位を考え、計算する。(主)</p> <p>○カードを使ってゲームをする。</p> <p>◆同じ数と同じ数を合わせることができる。(思・判・表)</p>				
3		7	<p>○計算プリント</p> <p>◆少しの支援で3桁の計算などができる。(知・技)</p> <p>○10までの数概念、色や形のマッチング</p> <p>◆日常生活の数字に興味をもつことができる。(主)</p> <p>◆数の合成を理解できる。(思・判・表)</p>				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部	肢体不自由教育部門 高等部		学 年	1 年
教科等名	外国語		学習グループ（教育課程）	B（知的代替）
ねらい	（知・技）日本語と外国語の違いに意識を向け、音声や表現に慣れ親しむ。 （思・判・表）表現を使う場面知り、聞いたり話したりする。 （主）言語やその背景にある文化を知り、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
担当教員	教員：新田真 上野はつえ 荒屋澄枝 CG：井上智佳子			
年間授業時数	37 単位時間			
使用教科書	「Enjoy English①」日本トータルアカデミー			
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容、ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	月・曜日、挨拶表現、天気、自己紹介、動作表現 ALT	14	○自己紹介 ◆定型文を使用して、自分の名前や好きなものを発表することができる。	・実態に応じて、個別課題を用意する。 ・パソコンやCD、DVD等の英語教材を使用し、視覚的聴覚的にわかりやすい授業をする。
5			○日常生活に身近な英単語の学習 ◆自分の誕生日や曜日、天気を理解する。	
6			○動作表現 ◆歌やダンスを交えながら、動作表現を覚える。	
7			○ALTとのコミュニケーション ◆ALTの発音のあとについて発声したりリズムに合わせて単語を言ったりできる。	
9	身体の部位に関する英語表現、食べ物に関する単語、外国文化体験 ALT	14	○身体の部位 ◆単語を理解して定着する。	・実態に応じて、個別課題を用意する。 ・具体物や音楽等を活用し、外国文化の雰囲気を感じられるようにする。
10			○食べ物（野菜、フルーツ等の単語） ◆単語を理解して定着する。（読む、書く、聞く、話す）	
11			○外国文化の体験活動（ハロウィン、クリスマス等の文化） ◆体験活動を通して、外国文化を知り、親しむことができる。	
12			○ALTとのコミュニケーション ◆聞かれたことにYes、Noなど英語で答えることができる。	
1	お店に関する英語表現、尋ねる時に使える表現、異文化理解 ALT	9	○お店に関する表現（スーパー等で使う表現） ◆注文を聞いたり受け取ったりすることができる。	・実態に応じて、個別課題を用意する。 ・絵カードや具体物、動画等を提示し、言葉とイメージがわかりやすく結びつけられるようにする。
2			○尋ねる時に使える表現（道や交通手段を説明する表現） ◆単語を知り、発音することができる。	
3			○ALTとのコミュニケーション（簡単な英語で会話をする。） ◆ALTを通じて、単語や異文化を理解することができる。	

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 高等部		学 年	1 年
教科等名		自立活動		学習グループ（教育課程）	B（知的代替）
ねらい		(知・技)身体の状態を理解し、身体の使い方や整え方を身につけ、教員と協力して活動することができるようになる。 (思・判・表)集団の中で、他者と適切なコミュニケーションをとりながら学校生活を送ることができる。 (主)学習上又は生活上の困難を改善しようとする態度を養う。			
担当教員		教員：福永映子 小泉虹華 新田真 上野はつえ 荒屋澄枝			
年間授業時数		266 単位時間			
使用教科書		なし			
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)	指導の工夫	
4	個々の課題に取り組もう (通年)	266	○排せつ、水分摂取、身体の手組み ◆1日の活動に見通しをもつ。(主) ◆あいさつや自分の気持ちを言葉で表現し、コミュニケーションをとる。(思・判・表) ◆排せつ、水分補給などで体調を整え、リラックスした気持ちで次の授業に向かう身体を作る。(主)	・学習内容に見通しがもてるよう、活動の流れを確立させる。 ・個々の実態に合わせて、補助具を工夫し達成感が得られるようにする。 ・校医（整形外科）、外部専門家と連携を図りながら継続的に取り組めるようにする。 ・自転車やバランスボールなどの教具を使用する。	
5					
6					
7					
9					
10					
11					
12					
1					
2					
3					